

農業用機械貸出のご案内

一般財団法人中央市農業振興公社では、中央市の農業従事者の皆様を対象に農業用機械の貸出を行っております。
貸出農業用機械の種類・使用料金は下記のとおりです。

農業用機械使用料金表

番号	機械名称	使用料金		備考
		半日	一日	
1	もろこし脱粒機 (コーンシエラー5型)	500円	1,000円	
2	大豆脱粒機 (PBT610B)	1,000円	2,000円	自走式
3	大豆選別機	1,000円	2,000円	定置式
4	乗用草刈機	5,500円	11,000円	
5	ハンマーモア	5,500円	11,000円	今年度より新たに導入
6	管理機	600円	1,200円	
7	動力噴霧器	1,000円	2,000円	
8	刈払機	500円	1,000円	
9	乗用トラクター (EG224)	6,200円	12,400円	24馬力 キャビン付き
10	マルチ張り機	1,200円	2,400円	

※機械の使用方法は、ご利用の時に詳しくご説明いたします。

※乗用トラクターについて

田富・玉穂方面に関しては、積載車をお持ちの方に限ります。(タイヤの損耗が原因のため)

農作業受託事業のご案内

一般財団法人中央市農業振興公社では、中央市内の農地を対象に、農地の草刈り及び耕うん作業等を行っております。農家の皆様のご利用をお待ちしています。

農作業受託事業料金表

作業区分	作業内容	単位	賃金額	備考
耕うん・耕起	耕うん・耕起のみ	10a当り	11,000円	機械・運搬・洗浄料・(税込み)
乗用草刈り機 (刈払機を含む)	乗用草刈り機での 草刈り	10a当り	10,000円	機械・運搬・洗浄料・(税込み)

【注意事項】

※作業条件は、圃場条件及び圃場状況によって20%~80%の割増賃金が係る場合もあります。

また、抜根・整地作業については、別途業者見積り対応となります。

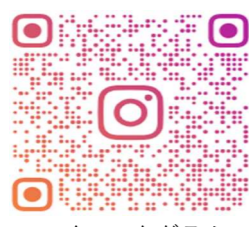
但し、急傾斜地等の作業は行いません・※令和4年(2022年)4月1日改正

・圃場や天候によって、希望の日程に添えない場合や、圃場の確認を行いお引き受けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

各SNSにて最新情報をお届けしています!



ホームページ



Instagram



Twitter

お問い合わせ

(一財)中央市農業振興公社

山梨県中央市大鳥居3866 TEL:055-269-2411

道の駅とよとみ

山梨県中央市浅利1010-1 TEL:055-269-3424

中央市 農業振興公社だより

令和6年6月

第1号



道の駅 とよとみ

今年も
開催!



もろこしフェア 2024

甘み弾ける朝採りゴールドラッシュ

お届けします

6月 8日(土)

6月 15日(土)

開催決定!



もろこしフェアの会場は右図のとおりです。混雑時は係員の誘導に従って下さい。
箱売り・持ち帰り・宅配は9時から開始です。



本年度も各講座を開講しています

中央市果樹農業塾（ぶどう）開講中

今年度で2年目の開講となる果樹農業塾（ぶどう）は、4月25日に開講式が行われました。今年度は15名の方々からお申込みを頂きました。

初回は「農業の上手な使い方」、「主要な病害虫の防除と注意点」について講義形式で研修を行い、第2回（5月16日実施）は摘房・房づくり等について実地研修を行いました。途中の回からの参加も可能ですので、ご興味がある方はぜひお問い合わせの番号（公社）にご連絡ください。

今後のスケジュール

第1回	4月25日	開講式・講義	終了
第2回	5月16日	摘房・房づくり・ジベレリン処理	終了
第3回	6月上旬	摘粒・袋かけ・防除	
第4回	7月～8月	葉面散布について	
第5回	9月中旬	土壌採取	
第6回	10月中旬	土壌分析結果と施肥管理	
第7回	12月中旬	長梢剪定	
第8回	1月中旬	短梢剪定	
第9回	3月中旬	苗の植え付け	



野菜栽培営農講座 開講中

本講座は農業生産を目指す者及び新規就農者を対象とした通年型の実地研修であり、直売所への出荷品目拡大を目指して開講しています。5月23日には今年度で3年目となる開講式が行われ、今年度は13名の方々からお申込みを頂きました。初回は落花生と枝豆の播種・キャベツの収穫を行いました。

今後のスケジュール

第1回	5月23日	開講式・落花生等播種	終了
第2回	6月上旬	サツマイモ植え付け	
第3回	6月中旬	キャベツの播種	
第4回	7月中旬	ブロッコリー等の播種	
第5回	7月下旬	キャベツ定植	
第6回	8月上旬	カリフラワー播種 カリフラワー定植 レタス・キャベツ播種	
第7回	8月下旬	ニンジン播種	
第8回	9月中旬	コカブ・小松菜播種 キャベツ収穫	
第9～13回		適宜収穫作業	

別途、不定期で「野菜栽培講習会」も開催しております。



生ごみからきのご栽培！？ ～資源の好循環化を目指して～

道の駅とよみから車で数分の距離にある「とよみクリーンセンター」。本センターでは約20年前から豊富地区の方々や保育園から生ごみを回収し、農業集落排水汚泥と混合させコンポスト化を行っています。

なお、生ごみを燃えるごみと分けて回収し、堆肥の原料に充てている自治体は全国でも珍しく、SDGsの先駆けとなる取り組みと言えます。

今、中央市と山梨大学が連携し、資源の好循環化を目指してあるプロジェクトが始まろうとしています。それは、「生ごみからキノコを栽培すること」。山梨大学では生ごみからきのごを栽培する技術の研究が進められており、現在は本センターで回収された生ごみからきのごが栽培できるか実験中です。今後の展開にご期待ください！



中央市地域おこし協力隊員、2名活動中

地域おこし協力隊とは？

地方の過疎化問題を解決するための制度であり、都市から地方へ生活の拠点を移した者を地方公共団体が隊員として委嘱し、隊員は地域活動を行いながら、最大3年の任期の中で、その地域への定住・定着を図ることを目指します。中央市では3月より2名が着任し、活動をしています。

隊員の紹介



田富のトマト農家ヨダファームに支えてもらいながら活動をしている鈴木裕也(すずきゆうや)と申します。中心は田富エリアとなりますが、市内全域それぞれに異なる良さがあり、魅力がある。それが中央市だと思っております。私が知らない中央市の良さを農業だけに限らず教えて下さると、この上なく嬉しく思います。



松山夏規(まつやま なつき)と申します。出身は岐阜県多治見市です。(一財)中央市農業振興公社を拠点に活動しており、地域の魅力を発信する活動や、これまでの経験を生かして上述の記事のような資源循環の促進活動を行っています。道の駅や公社、市内を回っていますのでお見かけの際にはお気軽にお声がけ頂けると幸いです。